



花とみどり 第8号

令和8年7月1日
飯塚市立庄内中学校
校長 岡松 範 諭

～生徒総会の振り返り～

～「任せる」から「創る」へ。私たちが踏み出す第一歩～

6月26日（金）の5・6時間目に、全校生徒による生徒総会が行われました。生徒総会では、先ず生徒会役員から「庄内中学校をより良くするための活動計画」が提案されました。これに対して各クラスの代表をはじめ、多くの生徒から賛成意見や「こうすればもっと良くなる」といった前



向きな修正案が次々と出され、非常に活気のある時間となりました。学校づくりを人任せにせず、一人一人が「自分事」として考えて行動していくための、素晴らしい一歩になったのではないのでしょうか。今後は、生徒たちがより良い学校を目指して、実際に一歩ずつ行動していってくれることを期待しています。

今回の通信では、生徒総会后に全校生徒を対象に実施したアンケートの集計結果をご紹介します。

アンケートからは、各学年がそれぞれの視点で、理想の学校づくりに向けて「自分にできること」を具体的に考え、主体的に行動し始めている姿が感じられ、大変頼もしく感じられました。

各学年の回答結果から、生徒達が何を感じてくれたのかを分析してみました。

・【1年生】「規範意識」の向上と「これからの庄内中への期待」を感じました。

○最も多かったのは「すぐには変わらなくても、少しずつ良くなる」とい現実的で前向きな期待でした。

○自分ができることとして「決まったルールをまずは自分から守る」という回答が圧倒的で、庄内中の一員としての自覚が芽生えてきており、嬉しく思いました。

・【2年生】自分達が、庄内中を創っていかなければならないという自覚を感じました。

○2年生の特徴として、「みんなの声と行動で、学校はもっと良くなる」という回答が最も多く、自分たちの力で環境を変えていこうという思いが伺えました。

○自分ができることとして、「ルールを守ること」に加え、「役割に責任を持って取り組む」という意識が大変高く、中堅学年としての頼もしさが際立っていました。

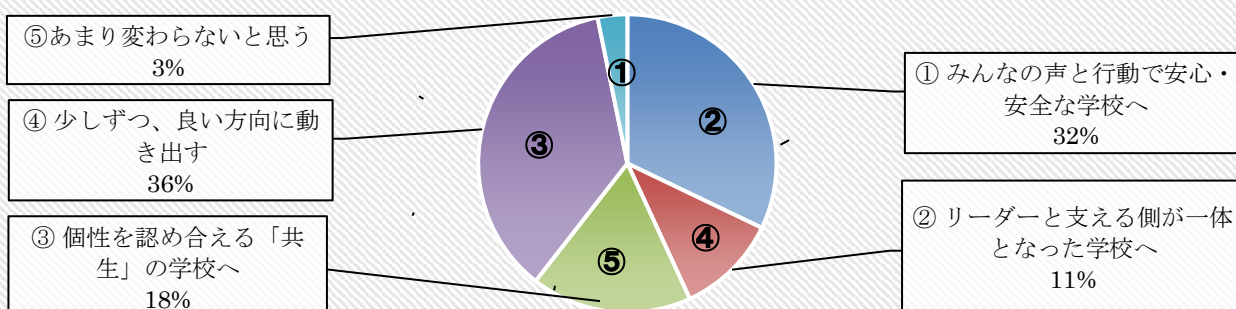
・【3年生】最上級生として、リーダーシップを発揮していこうという思いが感じられました。

○他学年に比べ「お互いの個性を認め合える学校になる」という共生への意識が顕著でした。

○自分ができることとして、「不満を言うだけでなく、前向きな提案をする」という回答が多く、学校をより良くアップデートしようとするリーダーの姿勢が見て取れました。

2. アンケート集計データ（多くの生徒が、もっと学校が良くなっていくと感じていました。）

Q1：これから庄内中学校はどんな学校になると思いますか？



3. Q2:明日からのアクション

生徒の皆さんが選んだ「明日から実践したいアクション」のトップ3は以下の通りです。

第1位：決まったルールを自分から意識して守り、行動に移す（約60%）

全体の約6割が、まずは「規律」を大切にしたいと考えています。特に1年生は「自分から守る」という意識が非常に高く、土台作りへの意欲が見て取れます。

第2位：委員会や係の仕事など、自分の役割に責任を持って取り組む（約50%）

約半数の生徒が「役割」を果たすことを重視しています。2年生を中心に、学校を支える主体としての責任感が強まっていることが分かります。

第3位：周りの人が安心・安全に過ごせているか気にかける・声をかける（約45%）

4割以上の生徒が他者への「配慮」を意識しています。3年生では、ルールを守るだけでなく「お互いを認め合う」という視点での回答も目立ちました。

これらの結果は、全校生徒の皆さんが「学校を自分たちの手で良くしていこう」という強い意志を持って、自分達から行動しようと考えてくれている証拠です。「任せる」から「創る」へ、あとは皆さんの行動あるのみ。

※校長先生は、「飯塚で一番気持ちの良い挨拶ができる学校」を目指し、挨拶を強化していきます。

なんで勉強せんといかんと？② ～豊かな未来を、自分の手で選び取ろう！～

「なんで勉強しなきゃいけないの？」今日の答えは、「将来、君が豊かで自由でいるため」です。

1. 実力をつけて「選べる大人」になろう

大人になってからの本当の自由とは、「自分の人生を自分で選べること」です。知識やスキルがあれば、将来の仕事や生きる環境を自分の意志で自由に選べます。逆にこれらがないと、やりたいことがあっても選択肢が狭まってしまうことがあります。勉強とは、未来の自分に「自由な選択肢」をプレゼントするための準備なのです。

2. 基礎（土台）を鍛え、自分の未来を「創る人」になろう

変化の激しいこれからの社会では、与えられたものを消費するだけでなく、「新しい楽しさや仕組みを自分から生み出していく力」がとても大切になります。「今」学んでいる国語・数学・英語などの基礎力は、将来皆さんが社会に出たときに「新しい何かを創り出す」ための、そして「逞しく生きていく」ための力強い土台になります。

また、中高校生の時期の勉強は、社会人に比べて努力が成果に結びつきやすい、言わば「人生のボーナスステージ」です。頑張れば頑張った分だけ未来の選択肢が増えていきます。この貴重な時間を大切に、自分の可能性を広げていきましょう。

3. そのために、今日から「自分で決めて」動き出そう

まず、「誰かのせい」にするのは、もう卒業しましょう。

上手くいかない理由を環境や人のせいにして、手を抜くことは簡単です。しかし、皆さんの「今」は、他でもない皆さん自身の未来へと繋がっています。自分の未来を創ることができるのは、自分自身だけです。たとえ失敗を繰り返したとしても、それは挑戦している証拠です。粘り強くチャレンジし、諦めずに前を向くことが、未来を切り拓く鍵になります。

庄内中学校の皆さん。皆さんが一步步成長していく姿を、私たちはいつでも応援しています。

週末の各部活動の大会結果：

6月27日 **サッカー部** 庄内・日新館 v s 鎮西中 1-5 （二瀬中）惜しくも勝利とならず
水泳部 **3年生** 100M自由形 50M自由形 両種目とも**筑豊大会進出**
2年生 100M自由形 **筑豊大会進出** （健康の森 プール）
野球部 庄内・穂波東 v s 穎田・幸袋 5-4勝利：決勝へ （筑穂球場）
6月28日 **野球部** 庄内・穂波東 v s 飯塚一中 2-1勝利 **嘉飯山大会優勝**（庄内球場）
卓球部（女子） 予選：庄内 v s 稲築東 3-0勝利 庄内 v s 鎮西 0-3負け
予選2位通過 決勝トナリト 庄内・穂波東 0-3負け
筑豊大会進出決定 （嘉穂総合体育館）

庄内中学校 未来創造プロジェクト

～「任せる」から「創る」へ～

全校の期待：
私たちの学校はどう変わる？



- ☒ 「少しずつ、確実に良くなる」という期待が大多数
アンケートでは「すぐには変わらなくても、声と行動で少しずつ良い方向的に動き出す」と信じている生徒が最も多く、変化への前向きな姿勢が見られます。
- ☒ みんなの「声」と「行動」が、安心・安全の鍵
「みんなの声と行動で、今よりもっと過ごしやすい学校になる」という回答が多く、自分たちの主体性が学校を変える原動力であると認識されています。

生徒達のアンケートを
まとめてみました。

学年別フォーカス：
今の私たちにできること

アンケートでは「すぐには変わらなくても、声と行動で少しずつ良い方向に動き出す」と多くの生徒が感じています。決まったルールや校則を自分から意識して守り、行動に移すことを第一のステップとして考えている生徒が多い。



1年生

【1年生】
まずは「ルールを守る」ことからスタート
決まったルールや校則を自分から意識して守り、行動に移すことを第一のステップとして重視している生徒が多い。

2年生

【2年生】自分の「役割に責任」を持つ
委員会や係の仕事など、与えられた役割に対して主体的に、責任を持って取り組んで行きたい。

3年生

【3年生】「共生」と「前向きな提案」
お互いの個性を認め合う「共生」の精神を持ち、不満を言うだけでなく「こうすれば良くなる」という改善策を提示するリーダーシップを発揮していきたい。

全校共通アクション：
明日から実践する3つのこと



①決まったルールを意識して守る
学校全体の課題を自分事として捉え、まずは自分から行動で示します。



②自分の役割に責任を持つ
委員会や係など、自分に任された仕事を最後までやり遂げます。



③周りへの積極的な「声かけ」
周りの人が安心・安全に過ごせているかを気かけ、互いに助け合える雰囲気を作ります。

生徒の言葉：
未来へのメッセージ

「自分たちで創った
良い学校にする」

生徒総会での修正案や意見をもとに、全校生徒の手で誇れる学校を創りたいという強い意志がしめされました。

「良い行動を周りにも広めていきたい」

自分が意識して守っていることや良い取り組みを、クラスや学校全体に広げていきたいという意識がみられました。